

令和7年度 学校教育自己診断アンケート＜教員＞ 集計結果

回答数 43
回答率 81.1 %
2025年12月実施

やや当てはまる
当てはまらない

当てはまる
あまり当てはまらない

肯定	否定
%	%
81	19

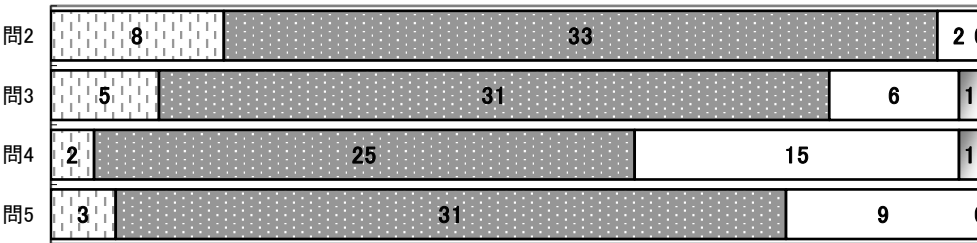
【1】教育活動全般

1 生徒に生命の大切さや人権・平和について学ばせる機会がある



【2】授業・学習指導・進路指導について

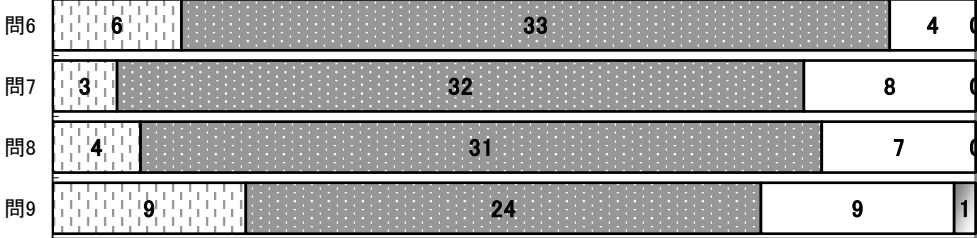
- 2 生徒の進路実現に向け、必要な支援を行っている
- 3 学習意欲の高い生徒向けの支援ができている
- 4 学習到達度の低い生徒向けの指導や支援ができている
- 5 生徒の実態を踏まえ、授業アンケートの結果や授業公開を活用して自ら授業内容の工夫や改善を行っている



95	5
84	16
63	37
79	21

【3】学校生活について

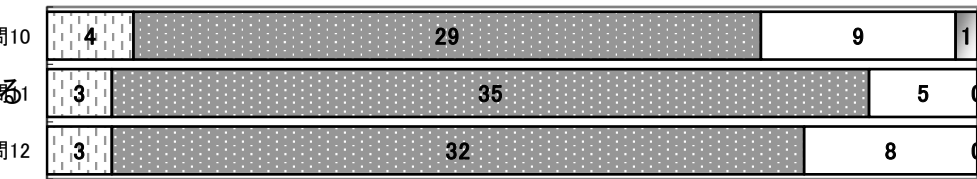
- 6 いじめや生徒間トラブルなどについて、迅速かつ組織的な対応ができている
- 7 生徒の実態をふまえた適切な生徒指導ができている
- 8 生徒が教員に相談しやすい環境がある
- 9 学校行事は組織的・効率的に運営されている



91	9
81	19
83	17
77	23

【5】その他

- 10 教員が情報を共有し、課題解決に向けて協力しあう体制がある
- 11 中学生やその保護者、地域の人々らに向け、十分な情報提供ができている
- 12 ICT機器を効果的に活用している



77	23
88	12
81	19

令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果 経年比較 <教員>

運営委員会資料 令和8年1月19日

職員会議資料 令和8年1月22日

回答数

回答率

単位は%

43

81.1 %

【1】本校教育全体について

	R 7		R 6		R 5		R 4		肯定 前年 比較	肯定 一昨 年比 較
	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定		
1 生徒に生命の大切さや人権・平和について学ばせる機会がある	81	19	71	29	78	22	89	11	10	3

【2】授業・学習指導・進路指導について

2 生徒の進路実現に向け、必要な支援を行っている	95	5	70	30	71	29	87	13	25	24
3 学習意欲の高い生徒向けの支援ができています	84	16	72	28	53	47	82	18	12	31
4 学習到達度の低い生徒向けの指導や支援ができています	63	37	59	41	56	44	64	36	4	7
5 生徒の実態を踏まえ、授業アンケートの結果や授業公開を活用して自ら授業内容の工夫や改善を行っている	79	21	80	20	86	14	98	2	-1	-7

【3】学校生活について

6 いじめや生徒間トラブルなどについて、迅速かつ組織的な対応ができています	91	9	89	11	96	4	91	9	2	-5
7 生徒の実態をふまえた適切な生徒指導ができています	81	19	91	9	91	9	91	9	-10	-10
8 生徒が教員に相談しやすい環境がある	83	17	80	20	89	11	95	5	3	-6
9 学校行事は組織的・効率的に運営されている	77	23	89	11	89	11	82	18	-12	-12

【5】その他

10 教員が情報を共有し、課題解決に向けて協力しあう体制がある	77	23	70	30	78	22	86	14	7	-1
11 中学生やその保護者、地域の人々らに向け、十分な情報提供ができています	88	12	74	26	78	22	80	20	14	10
12 ICT機器を効果的に活用している	81	19	93	7	89	11	84	16	-12	-8

教員記述

1 本校教育全体について

働き方改革という名の下、部活動や講習等、生徒のためになることがどんどん衰退していると思います。本校に限った話ではないと思いますが。

教師をめざした時の原点を思い出し、「生徒のために」、残業時間を気にしながら、がんばっていきたいと思います。

2 授業・学習指導・進路指導について

上を伸ばす指導に力が入っていないような気がします。2年生1年生には底上げが今まで以上に必要なのは共通理解が得られると思いますが、上を伸ばす指導は絶対必要かと言われたら必要ではないので、なかなか進まないのかなと思います。

担当者により、指導方法がばらばらであるように感じます。

3年生の進路について、昨年度（多くて過去3年間）の公募制推薦合格者の本校生徒の入試の平均点などの情報を生徒に共有するなどができれば、生徒の受験における判断材料になると思われる。

3 学校生活について

1年生は元気に明るく挨拶できる生徒が多くて非常に良いと思います。来年度以降の後輩を引っ張ってってもらいたいと思います。

頭髮指導（パーマ等）、特に化粧指導難しいです。ただ、化粧指導は「どこから」というのが難しいですが、ひど過ぎるのすら指導していない現状は、もう少し声かけしたら改善されるのではとも思います。服装指導は線引きが簡単で、ボタンをあけている、シャツを出している、スカートを折っているのは明らかにわかるので、きっちり指導すれば良いのではないかと思います。

問題が起こる前に、未然に防げることもあるのではないかと思います。置き勉禁止徹底、教室環境の整備、最低限の声かけから積極的な声かけへ等。

勤務時間内に業務が終わることに越したことはないが、生徒のために動く必要があるのならば、もっと優先順位を考慮してもよいと思われる。

4 学校運営について

総務部解体の後の仕事の割り振りを再検討したら良いかと思います。

多くの仕事の面で、できる教員が動き過ぎることが多い。仕事内容を引継ぐ体制づくりが必要と思われる。

5 その他

探究の時間の副担任の関わりについて。担任と一緒に取り組むことについては異論はありませんが、事前説明がほぼ無く、準備もできない状態で、何をしたらよいのか十分に理解できないまま任せられることは非常に難しく感じています。

情報共有をもっと早くしていただくこと、担当する教員がきちんと準備できるような、分かりやすい課題にしていいただくこと等、いま一度見直しをしていただきたい。探究委員会には、担任側の担当の先生方の意見だけでなく、副担任側の意見も吸い上げて来年度に繋げていただきたいです。

「元気・挨拶・香里丘」というキャッチフレーズのような学校を実現するなら、まずは教職員から、元気に明るく挨拶をし、笑顔で楽しく働ける職場をめざしていきたいと思います。

生徒の情報の共有、物品や施設の管理など、教員の業務にICTをもっと活用することで効率がよくなる面があると思う。